

苦しくなったら、苦しみを味わえるだけ
生きているんだと感謝した。
うれしいときはまだ喜べるんだと、また感謝した。
有森裕子（元マラソン選手）

ある鍼灸師の先生から教えてもらったことです。

「ハリを体に刺して痛みをとってあげるんだけど、治りが早い人となかなか治らない人がいて、そこにはそれぞれ共通点があるの。

指で押して痛いところ、それを圧痛点って言うんだけど、どこかが痛い人は、痛い箇所が1ヶ所ってことはなくて、周辺に何か所もあるのね。ひとつの痛みをまずとってあげるんだけど、なかなか治らないタイプの人はずこう言うの『この痛みはやわらぎましたが、まだこっちは痛いです』

それに対して

『あ、この痛みがやわらぎました。ありがとうございます』
って言う人は治りが早い」

1ヶ所の痛みが消えたとき「ありがとう」という気持ちが出るか「こっちはまだ痛い」と思うか、そこが運命を分けるのだそうです。

冒頭に挙げた言葉は、有森さんが94年11月に手術し、リハビリを経て、再スタートしたときの言葉です。人生に奇跡を起す方法は、多分これなんでしょうね。「ありがとうございます」その感謝の思い。

「精神的であれ、物理的であれ、富がもたらされる全過程は、感謝という一語に要約することができます」（ジョゼフ・マーフィー）

どうやら、幸せも、お金も、「感謝」という一語にたどりつくようです。

人生は、「ありがとう」を探す旅。

見つければ見つけるほど、神様に愛される。

見つければ見つけるほど、ツキっぱなしになる人生ゲーム。

「幸せだから感謝をするのではない。感謝をしているから幸せなのだ」

（清水英雄 ありがとうモチベーション）

人生は、何があっても、ありがとう。

昔、聞いて今でもよく思い出す話で・・・

「無償の気持ちで、ただ楽になってほしいという想いで人の肩を揉んだり
マッサージしたりすると不思議な事に、揉まれている人以上に揉んでいる
人の方が元気になれるんですよ！」

という話があるのですが、この話のポイントもやはり揉んでもらっている人の「ありがとう」という感謝の気持ちの波動が揉んでいる人に作用するんですよという事でした！！

私は幸せなことに仕事から何十年も「ありがとう」をいっぱい
言って～いっぱい聞ける日常を送っています。

まずその事に感謝して、もっと心を込めた「ありがとう」を
発する事より始めます！！

店頭で、私の発する「ありがとう」に注目して下さいね！！
パワー不足を感じたらどうぞ厳しく突っ込んで下さい！

